



立憲政體略

全

洋学文庫

文庫 8

C 180



五言文各



立
震

政

體

畧

戊辰秋
應

加藤 先生 稿

楊大昕 稿



小引

一 余曩ニ鄰草ト題セル書ヲ著シテ粗政體ニ就
 テ論セシカ猶初學ノ著ナレハ文極メテ拙ク
 論極メテ粗ナルヲ以テ尚別ニ立憲政體論ト
 題セル書ヲ著シテ詳ニ論セント欲シ己ニ去
 去年稿ヲ起セシニ尔後公私多事ニシテ稿未
 ダ半ニ至ラス因テ惟フニ詳ヲ求メテ成功ノ
 速カナラザルハ寧口略ニシテ成功ノ速カナ
 ルニ如カスト是ニ於テ先ツ其略ヲ取ラント

決シ數日前ヨリ公務ノ餘暇ヲ竊テ筆ヲ採リ
以テ此小冊子ヲ著シ顔シテ立憲政體畧ト云
フ尚暇日ヲ得テ政體論ヲ卒ヘ以テ其詳ヲ盡
サント欲ス

一 立憲政體トハ公明正大確然不拔ノ國憲ヲ制
立シ民ト政ヲ共ニシ以テ真ノ治要ヲ求ムル
所ノ政體ヲイフナリ立憲政體ニ二類アリ本
文ニ詳ナリ

慶應四年戊辰七月

加藤弘藏誌

目錄

政體總論

君政

君主擅制

君主專治

上下同治

民政

貴顯專治

萬民共治

上下同治

國憲

三大權柄

立法

施政

司律

萬民共治

國憲

三大權柄

國民公私二權

私權

公權

立憲政體略



政體總論

凡ソ宇内萬國風俗人情自ラ相殊ナリトイヘ
 凡其政體ハ之ヲ要スルニ二類ニ過キス所謂
 君政民政是ナリ但シ君政分テ三種トナル即
 チ君主擅制、君主專治、鄰草ニ君主握上下同治
 又君民同治ト譯ス鄰草是ナリ民政亦分テ二
 種トナル即チ貴顯專治、鄰草ニ豪族專權萬民
 共治、鄰草ニ萬民同是ナリ乃チ左ニ諸政體ノ

加藤弘藏誠之著



警察ヲ論ス

第一君政

億兆ノ上ニ一君アリテ之ヲ統御スルノ政體ナリ

甲、君主擅制

君主天下ヲ私有シ億兆ヲ擅制シテ生殺與奪ノ權獨リ其欲スル所ニ任スル者ヲ云フ

乙、君主專治

君主天下ヲ私有シ獨リ禮樂征伐ノ權

ヲ專ニシテ臣民ヲシテ國事ニ參與スルコトヲ得セシメサルモノヲ云フ惟習俗自ラ法律トナリテ稍君權ヲ限制スル所アリ蓋シ擅制ト相異ナル所以ナリ

丙、上下同治又君民同治ト譯ス

君主億兆ノ上ニアリテ之ヲ統御スト雖氏敢テ天下ヲ私有スルコトナク必ス公明正大確然不拔ノ國憲ヲ制立シ萬機必ス此國憲ニ則リテ施行シ且臣民

ヲシテ國事ニ參預スルノ權ヲ有セシムルモノヲ云フ

第二民政

億兆ノ上ニ君主ナク民政權ヲ掌握スルモノヲ云フ

甲、貴顯專治

國中ノ貴戚顯族數負累世政權ヲ掌握スルモノヲ云フ即チ貴顯天下ヲ私有スルナリ

乙、萬民共治

國中君臣尊卑ノ別ナク惟有徳ノ君子一人若クハ數名選擇セラレテ政權ヲ掌握ス但シ上下同治ノ如ク亦公明正大確然不拔ノ國憲ヲ制立シテ萬機此國憲ニ則ラサルモノナク且、國內庶民ヲシテ國事ニ參預スルノ權ヲ有セシムル者ヲ云フ但シ此政體ノ國ニモ確然不拔ノ國憲ヲ立テサル者アリ此ノ如キモノハ立憲政體ト稱スヘカラス古昔ノ制度ハ皆此ノ如シ

○以上五政體ノ槩畧此ノ如シ但シ此他尚代天
 政治或ハ盟邦合邦封建郡縣等ノ制度アリト
 イヘ氏皆此五政體ノ一ニ居ラサル者ナシ○
 此五政體中ニ於テ君主擅制君主專治貴顯專
 治等ノ如キハ皆未タ開化文明ニ向ハサル國
 ノ政體ナリ就中擅制ノ如キハ蠻夷ノ政體ニ
 シテ尤モ惡ムヘク賤ムヘキモノナリ但シ君
 主專治ノ如キハ人文未タ闢ケス蠢愚ノ民多
 キ國ニアリテハ甚ダ適當セル政體ナリトイ
 ヘ氏漸ク開化ニ向ヘル國ニアリテハ直ニ廢

棄セサルヘカラス貴顯專治ノ如キモ亦然リ
 歐洲各國往古多クハ是等ノ政體ヲ建テ獨リ
 朝廷大權ヲ擅ニシ務メテ黔首ヲ愚ニシテ頻
 リニ酷虐ノ政ヲ施セシカ中古漸ク開化ニ向
 フニ隨テ民其私政ニ服セス殊ニ今ヲ距ル
 一二百年前ノ頃ヨリ名彦鴻儒輩出シテ之カ
 為メニ慷慨ヲ懷ケル者少カラス就中英人米
 耳頓羅克佛人孟得士瓜蘆騷日耳曼人汗土非
 弗得其他數輩頗リニ王公ノ天下億兆ヲ私有
 スルノ非ナルヲ辨論シテ或ハ上下同治或ハ

萬民共治ノ政體ヲ主張セシカハ百姓ノ此公
論ニ服スル者多ク漸ク王公ノ虐政ヲ拒ミ屢
騷亂ヲ生セシカ為メニ王公ノ暴威愈衰へ遂
ニ從來ノ政體自ラ永存スルヲ能ハサルノ勢
トナリソレヨリ各國漸ク其政體ヲ變シテ或
ヒハ上下同治或ハ萬民共和ノ政體ヲ建テ以
テ民ト政ヲ共ニスルヲトハナリタリ我
皇國亦二千有餘年間固有ノ政體ヲ存セシカ
去歲我舊幕府時勢ヲ觀察シテ政權ヲ
天朝ニ歸納セラレシヨリ萬機一新公明正大

ノ政體ヲ起シ玉フ真ニ

皇國中興ノ盛業ニシテ百姓ノ幸福コレヨリ
大ナルハナシ

○前章論スルカ如ク五政體中公明正大確然不
拔ノ國憲ヲ制立シ以テ真ノ治安ヲ求ムルモ
ノハ獨リ上下同治萬民共治ノ二政體ノミ因
テ之ヲ立憲政體ト稱ス左ニ此二政體ノ制度
ヲ槩論ス是レ此書ノ本意ナリ

第一上下同治

○一君主アリテ天下ノ大權ヲ掌握ス即チ天下

ノ元首ナリサレハ君主擅制、君主專治ノ如ク
天下ヲ以テ其私有トシ億兆ヲ以テ其僕妾ト
ナスモノニアラス所謂天下ヲ以テ天下億兆
ノ天下トス故ニ政府ハ惟天下億兆ニ代リテ
天下億兆ヲ治ムルヲ以テ本意トス是ヲ以テ
其政令獨リ君主ノ專ニスルヲ能ハサルモノ
ニシテ必ス先ツ公明正大確然不拔ノ國憲ヲ
制立シ萬機都テ之ニ則ラサルモノナク且臣
民ヲシテ國事ニ參預スルノ權利ヲ有セシム
加之君權動モスレハ專肆ニ至ルノ恐レアル

カ為メニ天下ノ大權ヲ以テ之ヲ三類ニ分チ
以テ各其官員ヲ充テ君主之ヲ鈔括ス第一立
法權柄第二施政權柄又行法權柄第三司律權柄
是レナリ○左ニ國憲及ヒ三大權柄ヲ槩論ス

國憲

○國憲トハ即チ治國ノ大憲法ニシテ都テ此政
體制度ノ大綱悉ク之ニ録載シテ萬機之ニ則
リテ施行スルモノニシテ政府敢テ恣ニ變更
スルヲ能ハス變更セント欲スルモノアレハ
必ス先ツ之ヲ立法府ニ謀ラサルヲ得ス蓋シ

確然不拔ナル所以ナリ其他憲法數類アリ皆
此國憲ノ枝葉ナリ

三大權柄

立法權柄

○憲法ハ即チ治國ノ基礎ナリ是ヲ以テ之ヲ制
立スルノ權柄自ラ三大權柄ノ尤モ重キモノ
ナリ是故ニ君主敢テ此權柄ヲ專ニスルヲ能
ハス必ス臣民ト之ヲ分チ君民上下相共ニ此
權柄ヲ掌握スサレト天下億兆ヲ徵シ聚メテ
其論議ヲ聽クヲ甚タ容易ナラス且ツ佞令ヒ

務メテ之ヲナスモ天下ノ民人智賢少ク愚不
肖多シ愚不肖ヲシテ天下ノ事ヲ論セシムル
ハ帝ニ利ナキノミナラス却テ害亦少カラス
是ニ於テ立法府ヲ置テ立法權柄ヲ掌握セシ
メ以テ天下億兆ニ代リテ君主ト共ニ憲法ヲ
制立シ大事ヲ議定スルモノトス立法府大概
分テ上下ノ二院トス蓋シ貴戚顯族教長官吏
富商豪農等ヲ以テ上院ノ官負トナスモノ多
シ儘マタ庶民ヲ以テ此官負トスル國モアリ
此官負世襲アリ君主命シテ終身或ハ定期ノ

間此職ニ任スルモノアリ或ハ庶民ノ選擇ニ
係リテ其在院ノ年限アルアリ或ハ其選擇ヲ
得ルニ年齒ニヨルモノアリ各國皆一樣ナラ
ス左ニ三四國ノ槩例ヲ舉ク

英國ノ上院

王族貴戚教化師等ニシテ王族及ヒ英倫
英倫、蘇格蘭、アイルランド
ヲ合併シテ英國ト稱ス三國ノ貴戚ハ世襲
ニ蘇格蘭ノ貴戚ハ毎年新ニ選舉シアイル
蘭ノ貴戚ハ終身之ニ任ス又教化師ハ英
倫ヨリ出ルモノハ終身之ニ任シアイル蘭

ヨリ出ルモノハ年々交替ス上院ノ官員
大約四百四五十人院長アリカンセル
ト稱ス

佛國ノ上院

教長及ヒ將帥等其他都テ國君命シテ終
身此職ニ任ス人負大抵百五十名ニ過キ

普魯士ノ上院

王族貴戚豪富ノ農商大學校ノ代議士及
ヒ大都會ノ市長等其他諸類ノモノニシ

テ或ハ世襲ノモノアリ或ハ終身又ハ數年間之ニ任スルモノアリ

荷蘭^{オランダ}ノ上院

許多ノ直税地稅家稅等當人ヨリ直ニ政府ニ納ムル稅云フ詳ナル友ハ余カ西洋各國盛衰強弱一覽表及ヒ
ヲ納ムルモノニアラサレハ此官負ニ任セラル、トナレ但シ其年齒三十ヲ超ユル者ノミ之ヲ選擇スル者ハ國內諸州ノ議官ニシテ大抵人口三千人毎ニ一人ヲ選擇スルトトナス在職九年ニシテ三年

毎ニ全數ノ三分一ヲ改選ス人員大約四十名トス

○又下院ハ各國皆庶民ノ代議士ヲ以テ之ニ充ツ代議士トハ即チ天下諸民ニ代リテ國事ヲ議スルヲ以テ命スル所ナリ故ニ此代議士ハ各國共ニ皆庶民ノ選擇スル所ニシテ必ス年齒年限等ノ定則アリ之ヲ選擇スル者ヲ選擇士ト稱ス但シ選擇士トナルノ權利及ヒ代議士トナルノ權利共ニ悉ク萬民ニ授與スルノ國アリ或ハ數條ノ規則アリテ其權利ヲ限定

スルノ國アリ各國相殊リ左ニ又四國ノ槩例ヲ舉ク

英國ノ下院

都市等ニテハ年々三百ポンド一ポンドハ大約我
金三兩以上ノ收納アル者ニアラサレハ
三分
代議士ニ選擇セラル、ト能ハス又州縣
ニテハ年々六百ポンド以上ノ收納アル
土地家屋等ヲ有スル者ニアラサレハ選
擇セラル、トアタハス人員ハ總計六百
五六十人在職七年トス又年々十ポンド

以上ノ收納アル土地家屋或ハ倉庫等ヲ
有スル者ハ皆選擇ノ權利ヲ有ス

佛國ノ下院

庶民悉ク代議士トナルノ權利ヲ有スル
モノニシテ選擇ノ權利モ亦庶民悉ク之
ヲ有ス但シ年齒二十一歳以下ノ者ハ選
擇ノ權利ヲ有スルト能ハス代議士ノ在
職十年トス居民三萬五千人毎ニ一人ノ
代議士ヲ選擇ス

普魯士ノ下院

年齒三十ヲ超ユル者ハ皆代議士ニ選擇セラル、ノ權利アリ總人負三百五十名在職三年トス○此國ノ選擇法ハ他ノ各國ト相異リテ選擇士二類アリテ其一ヲ初選擇士ト稱シニヲ後選擇士ト稱ス先ツ初選擇士相會シテ後選擇士ヲ選擇スルキハ此後選擇士亦相會シテ代議士ヲ選擇スルノ法ナリ之ヲ複選法ト云フ西班牙及其他日耳曼諸國等此法ヲ用ユ但シ此選擇法ニ就テハ詳ニ論セサレハ其

理了解スヘカラストイヘ凡能ク此小冊子ノ盡スヘキニアラス故ニ尚詳カナルヲハ立憲政體論ニユヅル

荷蘭ノ下院

庶民悉ク代議士トナルノ權利アリ但シ年齒三十以下ノ者ハ此權利ヲ有スルヲ能ハス此官員在職四年ニシテ二年毎ニ其一半ヲ改選ス人負大約七八十人トス○直税ノ多寡ヲ以テ此院ノ選擇權利ヲ限定ス但シ土地ニヨリテ其多寡ヲ定ム

ルモノニシテ都會或ハ其他繁盛ノ地等
 ニテハ許多ノ直税ヲ納ムル者ニアラサ
 レハ選擇士トナルヲ能ハス又僻邑偏土
 等ニテハ繁盛ノ地ニ比スレハ塵々ノ直
 税ヲ納ムル者ニテモ選擇士トナルヲ
 得但シ尤モ許多ナルモ百六十ギルデン
 一ギルデンハ大約ニ過キス尤モ寡少ナ
 我銀十八匁ニ當ルニ過キス尤モ寡少ナ
 ルモ二十ギルデンニ下ル可ラス

○兩院ヲ設クルノ法各國此ノ如ク相殊ナリト
 イヘ凡皆天下億兆ニ代テ君主ト共ニ憲法ヲ

制立シ大事ヲ議定スルノ權アルハ大抵相同シ
 惟獨リ佛國ノ如キハ皇帝ノ威權頗ル熾ニシ
 テ立法府ノ權大ニ抑制セラル○各國共ニ此
 兩院毎年預メ會議ノ日數ヲ定メテ必ス相會
 聚ス但シ臨時ニ事起ルキハ君主之ヲ徵シ聚
 メテ會議セシムルヲアリ都テ兩院ヲ開閉ス
 ルハ君主ノ權利ナリ且時アリテハ君主命シ
 テ散會セシムルノ權アリ但シ此ノ如キ時ニ
 於テハ直ニ又命ヲ下シテ他ノ立法府ヲ選擇
 セシメ新ニ會議セシメサルヘカラス○會議

セル事ハ都テ許多人負ノ一決セシ所ヲ採ル
ヲ以テ常法トシテ敢テ僅々數輩ノ論議ヲ採
ルヲ許サス但シ時アリテハ仮令衆說ノ一決
スルモノトイヘモ君主之ヲ不可トスレハ斥
ケテ採ラサルノ權アリ尚詳ナルヲ立憲政
體論ニユツル

施政權柄又行法權柄ト稱ス

○既ニ君主ト立法府兩院ト相共ニ商議シテ制
立セル憲法ヲ施行シ或ハ此憲法ニ則リテ萬
機ノ政ヲナスノ權柄ヲ稱シテ施政權柄又行

法權柄ト云フ此權柄ハ獨リ君主ノ掌握スル
所ニシテ民敢テ之ニ預カルヲ能ハス但シ此
權柄含有スル所ノ職務能ク一人ノ脩ムヘキ
ニアラス因テ之ヲ數類ニ分チ各其局ヲ置キ
每局必ス大臣一員ヲ任シ以テ君主ノ輔佐ト
ナス即チ君主ノ命スル所ナリ且之ニ屬吏數
十百員ヲ加ヘテ各其細務ヲ分掌セシム其分
局各國相同シカラストイヘモ大約七八類ト
ス即チ外國事務局、國內事務局、軍防事務局、
海陸二軍ノ事務局、刑獄事務局、刑獄ノ事ハ
二局トナセル國モアリ

ノ司掌スル所ナレハ君主ノ司掌スル會計事務
 局、藩屬地事務局、教育事務局、司法及ヒ學術ノ
 別ニ教法律務局ヲ置テ學術ノ事務ヲ掌ル但シ
 ハ國內事務局ニテ掌ル國内事務局等
 局或ハ會計事務局ニ置カスル國内事務局等
 是レナリサレハ尚十數類ニ分テル國アリ或
 ハ數局ヲ合併シテ僅ニ四五局ヲ置ケル國モ
 アリテ一樣ナラス○此數局ヲ合シテ輔院ト
 稱ス此輔院ノ外仍參議院アリ君側ニ侍レテ
 太政ヲ參議ス亦君主ノ命スル所ナリ○君主
 ハ理ニ於テ治國ノ責ニ任スヘシ故ニ其政令

若シ憲法ニ悖戻スルモノアルハ立法府兩
 院其罪ヲ問フハ理ニ於テ固ヨリ當然ナリト
 スサレハ亦此事實ニ行フヘカラサルノ理ア
 リ是ヲ以テ大臣ヲシテ君主ニ代ラシメ都テ
 各局ノ大臣各其職掌ノ責ニ任スルノ制度ヲ
 立ツ故ニ若シ其政令憲法ニ悖戻スル者アル
 片ハ立法府君主ノ罪ヲ問ハスレテ必ス其事
 ニ預リテ連署セル大臣ノ罪ヲ問フヲ得ル
 ナリ是故ニ施政權柄ハ君主ノ專ラ掌握スル
 所ナリトイヘハ必ス大臣ノ許可スル事ニア

ラサレハ敢テ施行スルヲ能ハス尚詳ナルヲ
論 ○宣戰講和立約等ノ事ハ皆君主ノ權利ニ
シテ立法府之ニ預カルヲナシトス

司律權柄

○司律權柄トハ律法ヲ司掌スルノ權柄ヲ云フ
蓋シ國家ノ律法ヲ定メ問官ヲ立ルハ人ノ惡
念ヲ禁シテ人ノ自脩ヲ許ス所以ナリ故ニ此
權柄ヲ以テ立法施政ノ二大權柄ニ並列シテ
別ニ司律一府ヲ置テ之ヲ掌ラシム但シ大中
小數院ニ分ツ全國ノ律法ヲ司ル者アリ州内

ノ律法ヲ司ル者アリ其他數局アリ各國皆同
シカラス ○此府ノ官吏ハ惟律法ニ據リテ獄
訟ヲ聽斷シテ毫モ律法ノ正邪當否ヲ論スル
ノ權ナシトスサレヒ都テ獄訟ノ事ハ全ク此
府ニ委托スルモノニシテ君主殆ト之ニ預カ
ラストス惟此府ノ官員ヲ命スルノ權死罪ヲ
許可スルノ權罪科ヲ宥ムルノ權其他二三ノ
權利君主ノ掌握スルモノトス

第二萬民共治

○已ニ論スルカ如ク此政體ヲ立ル所ノ各國ニ

テハ君臣尊卑ノ別ナク凡ソ闔國ノ民人悉ク
 相會議シテ國政ヲ施スヲ本意トス已ニ往古
 希臘ノ雅典等此ノ如キ制度ニテ憲法ノ事其
 他都テ緊要ノ事件ヲ議スルニハ闔國ノ民人
 悉ク會聚シテ之ヲ定決シ惟日々ノ庶政ハ別
 ニ官員ヲ置テ之ニ委託シタリキ即チ萬民共
 ナリ但シ此ノ如キ制度ハ雅典ノ如キ極小國
 ニアラサレハ施スヘカラス又後令ヒ施シ得
 ベントスルモ甚タ良制トスヘカラス是故ニ
 方今此政體ヲ立ル所ノ花旗國及ヒ瑞士等其

他多クハ此ノ如キ制度ヲ用ヒス上下同治ノ
 如ク必ス確然不拔ノ國憲ヲ制立シ亦三大權
 柄ヲ分テ立法權柄ハ立法府兩院ヲ設ケ選擇
 ノ法ヲ以テ代議士ヲ舉ケ施政權柄モ亦選擇
 ノ法ヲ以テ有徳ノ君子一人若クハ數人ヲ舉
 テ之ニ委託シ且之ヲシテ天下ノ元首タラシ
 ム敢テ門地資格ヲ論セス惟有徳才識ノ士ヲ
 取ルヲ本意トス但シ選擇ヲ得ルノ年齒及ヒ
 在職ノ年限等必ス定則アリテ期滿レハ又他
 人ヲ選擇シテ之ニ代ラシム花旗ノ如キハ施

政權柄ヲ掌握シテ牧民ノ責ニ任スル者ヲ
統領ト云フ即チ一名ナリ但シ別ニ副統領ト稱
スル者一名アリ若シ統領在職中ニ死スルカ
或ハ故アリテ退職スル片等之ニ代リテ統領
ノ職ヲ繼カシメンカ為メニ預備スル者ニシ
テ平常ハ上院ノ議長タルノミ備統領ハ其年
齒三十五以上ノ者ニアラサレハ選擇セラレ
ルヲ能ハス其在職ハ必ス四年トナスサレ
衆望歸シテ民其退職ヲ喜ハサレハ延ヒテ八
年ニ至ルヲ許ス決シテ八年ヲ超ユルヲ許サ

ス蓋シ威權ノ專横ニ至ルヲ恐ル、ナリ又瑞
士ノ制度ハ之ニ異リテ施政權柄ヲ掌握シテ
牧民ノ責ニ任スル者七人アリ共ニ相議シテ
天下ヲ治ム之ヲ合議府ト稱ス在職三年トス
亦門地資格ヲ論セス惟衆望ノ歸スル者ヲ舉
ク○此政體ヲ立ル各國多クハ元来自主ノ數
邦ヲ合シテ一國トナセルモノナルカ故ニ其
數邦ハ上下同治ノ國ノ州縣ノ如キ者ニハア
ラス各邦必ス亦政府アリテ邦内ノ政ハ都テ
此政府ニテ施行シ惟全國ニ關係スル事ハ全

國ノ大政府ニテ施行ス蓋シ封建ノ制度ト大ニ相類スル所アリテ大政府ハ朝廷ノ如ク自主ノ各邦ハ諸侯ノ如シ是故ニ封建ノ國ニテ立憲政體ヲ建テシニハ上下同治ノ制度ヨリハ反リテ此政體ノ制度取ル所多カラレ○國憲及ヒ三大權柄大抵上下同治ト小異大同ナリトイヘヒ猶左ニ樂論ス

國憲

○大抵上下同治ノ國憲ノ如シ惟政體ノ異ナルニヨリテ自ラ小異アルノミ

三大權柄

立法權柄

○大抵上下同治ノ國ノ如ク亦上下二院ニ分ツ惟其上院ハ大ニ上下同治ノ上院ト相殊ナリテ貴族教化師豪農富高等ニアラス國內各邦ノ政府ヨリ各二員ノ代議士ヲ選擇シテ之ヲ上院ニ送ル蓋シ各邦ニ代リテ國事ヲ議スル者ナリ但シ下院ハ上下同治ノ國ノ下院ト相殊ナル事ナク即チ庶民ノ代議士ニシテ亦人口ニ隨テ選擇ス但シ國中庶民悉ク選擇ノ權利

ヲ有スルモノニシテ決シテ大小貧富ニ從テ
 此權利ヲ與奪スルコトナシ惟此權利ヲ有スル
 コト能ハサル者ハ婦女少年狂疾アル人及ヒ刑
 コト蒙レル人等ノミ○兩院ノ代議士在職ノ年
 期及ヒ選擇ヲ得ルノ年齒等必ス定則アリ花
 旗ノ如キハ上院ノ官員在職ノ年限六年トス
 年齒三十二至ル者ニアラサレハ選擇ヲ得ル
 コト能ハス又下院官員ハ在職二年ニシテ年齒
 二十五以上ノモノニアラサレハ選擇セラル
 ルコトナシ居民十二萬四千人毎ニ一人ヲ選擇

スルコトナシ總人數大約二百四五十人アリ
 ○又瑞士ノ兩院ノ如キモ之ト小異アルノミ
 ○會議ニテ一決セシコトイハレ紡領之ヲ不
 可トスレハ斥ケテトラザルノ權アルコト上下
 同治ノ君主ニ同シ但シ若シ立法府敢テ之ニ
 服セスシテ猶其說ヲ主張スルキハ再ヒ其事
 コト議セシメ仍總人負ノ三分ノ二其事ヲ可ト
 スレハ紡領之ヲ採リテ施行セサルヲ得ス但
 シ瑞士ノ合議府ニハ此ノ如キ權ナシ故ニ立
 法府ニテ定決セシコトハ合議府敢テ其可否ヲ

論ス直ニ施行ス○其他ノ事大抵上下同治ノ
國ノ立法府ト大ニ相殊ナルヲナシ

施政權柄

○一人若クハ數人此權柄ヲ掌握ス即チ花旗ノ
如キハ紗領一人之ヲ掌握シ瑞士ノ如キハ所
謂合議府七人之ヲ掌握ス○施政府ノ職務ヲ
分テ數類トナシ各其局ヲ設ル上下同治ノ
國ト大抵相殊ナラス花旗ノ如キハ紗領各局
ノ宰相ヲ命シテ其治ヲ輔佐セシム其黠陟獨
リ紗領ノ專ニスル所ナリ但シ瑞士ノ如キハ

七局ヲ立テ所謂合議府七人各一局ノ長トナ
リテ其職務ヲ掌リ平常ノ事ハ其長之ヲ定決
シテ施行シ惟少シク常ニ異ナルハ皆合議
府七人相議シテ之ヲ定ム但シ七人中首領一
人アリ年々改選ス○上下同治ノ國ニテハ君
主治國ノ責ニ任スルノ實ナキカ如ク必ス大
臣ヲシテ之ニ代ラシムトイヘ此政體ヲ立
ル各國ニテハ然ラストス故ニ花旗ニテハ紗
領瑞士ニテハ合議府治國ノ責ニ任スルモノ
ニシテ政令國憲ニ悖戾スルモノアレハ立法

府ヨリ其罪ヲ問フコト當然ナリ○宜戰講和立
約ノ權利ハ花旗ニテハ統領ノ掌握スル所ナ
リトイヘ氏獨リ之ヲ專ニスルコト能ハス必ス
立法府ト議セサルヲ得ス但シ瑞士ニテハ此
權利全ク立法府ニ屬シテ合議府ハ絶ヘテ之
ニ預ルコトナシ

司律權柄

○上下同治ノ國ノ如ク此權柄ハ全ク此府ノ官
員ノ委任スル所ニシテ立法府施政府ノ關係
スル所ニアラス但シ花旗ニテハ上下同治ノ

各國ノ如ク此府ノ官員ヲ命スルノ權利、死罪
ヲ許可スルノ權利及ヒ罪科ヲ宥ムルノ權利
其他二三ノ權利、統領ノ掌握スル所ナリ但シ
瑞士ニテハ合議府此ノ如キ權利ヲ有スルコ
ト能ハス○其他大抵上下同治ノ國ト大異アル
コトナシ

國民公私二權

○君主擅制、君主專治、貴顯專治ノ如キハ天下億
兆ヲ以テ君主貴顯ノ私有僕妾トナス僕妾惟
其主命是レ奉スルハ理ニ於テ固ヨリ當然ナ

立憲政體
リ故ニ一ノ權利ヲ有スルヲ能ハサルハ敢テ
論ヲ俟タス惟立憲ニ政體ノ如キニ至リテハ
然ラス天下ヲ以テ君主貴顯ノ私物トナス
ナク所謂天下ノ天下トナス是故ニ其臣民
ル者ノ身自ラ權利ノ存スルアリ權利ニ二類
アリ一ヲ私權ト稱シニヲ公權ト稱ス私權ト
ハ私身ニ關係スル所ノ權利ニシテ所謂任意
自在ノ權ト稱スル者是ナリ公權トハ國事ニ
預カルノ權利ヲ云フナリ

私權

○私權又數種アリ枚擧スルニ暇アラストイヘ
其著大ナル者大凡左ノ如シ

○第一生活ノ權利

生活ハ天ノ賜フ所之ヲ奪フモ亦天ニア
リ人ノ恣ニ奪フヘキモノニアラス之ヲ
人生諸權利ノ基礎トナス蠻夷ノ如キハ
人君生殺ノ權ヲ恣ニス臣民此權利スラ
有スルヲ能ハス況ンヤ他諸權利ニ於テ
ヲヤ惟文明諸邦トイヘ其重罪ノ刑必ス
死ヲ以テス蓋シ已ムヲ得サルニ出ルノ

ミ一千七百年代以テリ云
フ一人ノ死ヲ廢スルノ
歐州ノ碩學鴻儒之刑ヲ左
= 瑞士合邦ノ内死刑ヲ廢
恐ラクハ此ノ説後世實ニ
ラ尚此説ノ詳ナルハ政體
ルニ至

○第二自身自主ノ權利

叨ニ逮捕セラレ肆ニ獄ニ繋カル、等ノ
ヲナキヲ得ルノ權利ナリ

○第三行事自在ノ權利

惟憲法ノ禁スル外ハ都テ人生諸業其意
ニ任セテ障碍ナキヲ得ルノ權利ナリ

○第四結社及ヒ會合ノ權利

結社ノ權利トハ數人會社ヲ結ヒ衆カラ
合シ貨本ヲ湊ノ以テ一人ノ力為シ能ハ
サル事業ヲ為シ得ルノ權利ナリ○會合
ノ權トハ衆人一地ニ會合シテ或ハ歡樂
ヲ同フシ或ハ相共ニ其利益ヲ謀ルヲ得
ルノ權利ナリ

○第五思言書自在ノ權利

思言書ノ三事悉ク意ニ任スルヲ得ル
ノ權利ナリ但シ思考ノ自在ハ仮令ヒ禁

糾トイヘヒ敢テ禁スルヲ能ハズサレヒ
其思考スル所ヲ自在ニ言述シ或ハ書記
鏤刻シテ公布スルヲ禁スルハ君主擅制
君主專治ノ常ナリ惟其自在ヲ許スモノ
ハ立憲ニ政體ノ各國ノ益シ此各國益
開化文明ニ赴ク所以ナリ但シ此權利自
在ナリトテ妄リニ書記スルヲ許スニア
ラス其書記スル所甚タ人心ヲ蠱惑シ治
安ヲ妨害スル等ノヲアレハ記者必ス其
罪ヲ受ルヲ固ヨリ當然ナリ故ニ記者其

辨解ノ責ニ任スルノ法度アリ

○第六信法自在ノ權利

教法ノ事ハ宗派ニ拘ハラス如何ナル宗
派ニテモ其人ノ意ニ任セテ信仰スルヲ
得ルノ權ナリ但シ中古迄ハ此權利ヲ立
スレテ或ハ古宗ヲ尊テ新宗ヲ賤ムル國
アリ之カタメニ屢國亂ノ起リシヲアリ
シユヘ輓近ハ此ノ如キ禁ヲ廢シテ政府
ニテハ少シモ宗派ノ是非善惡ヲ論セス
唯人々ノ意ニ任セテ何ノ宗派ニテモ自

在ニ信仰スルヲ得ルノ權利ヲ立タリ
故ニ近今ハ教法ノ為メニ國亂ノ起ルヲ
絶テナシ益シ歐洲ノ開化大ニ進歩シタ
ル所以ナル歟

○第七萬民同一ノ權利

法律各民ノ權利ヲ保護スルヲ同一ニシ
テ門地資格等ニヨリテ絶ヘテ差別ナキ
ヲ得ルノ權利ナリ益シ立憲政體ノ太公
至正一点ノ私ナキヲ視ルニ足ル

○第八各民所有ノ物ヲ自在ニ處置スルノ權

利各民其所有ノ物品ヲ自在ニ處置スル
ヲ得テ決シテ他人ノタメニ妨碍セラ
ル、ヲナキノ權利ナリ是故ニ立憲政體
ノ各國ニテハタトヒ罪人ノ家屋物品ト
イヘテ決シテ没入スルヲナク必ス之ヲ
其妻子親戚ニ與フ蓋シ没入ハ刑罰ト稱
ス可ラス却テ盜賊ノ所業トイフヘシ
其他尚數種アリ政體論ニ舉ク

公權

○公權トハ國事ニ預カルノ權利ニシテ其尤モ

著大ナル者ヲ選擇權利トイフ即チ立法府官
員ヲ選擇スルノ權利及ヒ其官員ニ選擇セラ
ル、ノ權利ヲ云フ元來立法府官員ハ天下億
兆皆此權利ヲ有スルヲ固ヨリ當然ナリ故ニ
國民貧富大小ノ別ナク悉ク此權利ヲ與ヘテ
毫モ限制セサル國アリ或ハ數例條ヲ設ケテ
之ヲ限定セル國アリテ一樣ナラス但シ佞令
ヒ毫モ限制セサル國トイヘヒ婦女少年狂疾
ノ人及ヒ刑ヲ蒙レル人其他自ラ活計ヲ營ム
ヲ能ハサル者等ニハ此權利ヲ與ヘサルヲ固

ヨリ論ヲマタス○其他諸官ニ任スルノ權亦
元來億兆同一ニ有スル所ニシテ各國多クハ
尊卑大小ノ別ナク惟其才能ニ從テ高卑諸官
ニ登庸ス故ニ賢愚各其所ヲ得ルモノニシテ
天下勞セスシテ治マル但シ亦婦女少年狂疾
ノ人刑ヲ蒙レル人學識ナキ人等ハ固ヨリ登
庸ヲ得ルヲ能ハス但シ儘某官職ヲ以テ某品
位ニ特准スルノ國アリ普魯士ノ如キハ將帥
ハ獨リ貴戚ニアラサレハ任セラレ、ヲ能ハ
ス然レモ此制度公明正大ノ事ニアラスシテ

